温室効果ガス全体の排出量見通しについて

算定結果		基準年	2002年度			現状対策				対策強化		
		百万 t-CO2	百万 t-CO2	基準年 総排出量比	(部門毎の 基準年比)	百万 t-CO2	基準年 総排出量比	(部門毎の 基準年比)		百万 t-CO2	基準年 総排出量比	(部門毎の 基準年比)
エネルギー起源CO2		1,048	1,174	<u>+10.2%</u>	(+12.0%)	1,115	<u>+5.4%</u>	(+6.4%)		1,056	<u>+0.6%</u>	(+0.8%)
	産業部門	476	468	-0.7%	(-1.7%)	450	-2.1%	(-5.6%)		435	-3.3%	(-8.6%)
	民生部門	273	363	+7.3%	(+33.0%)	333	+4.9%	(+22.2%)		302	+2.4%	(+10.8%)
	家庭部門)	129	166	+3.0%	(+28.8%)	155	+2.1%	(+20.0%)		137	+0.6%	(+6.0%)
	(業務その他部門)	144	197	+4.3%	(+36.7%)	178	+2.8%	(+24.1%)		165	+1.7%	(+15.0%)
	運輸部門	217	261	+3.6%	(+20.4%)	260	+3.4%	(+19.6%)		250	+2.7%	(+15.1%)
	エネルギー転換部門	82	82	-0.0%	(-0.3%)	73	-0.8%	(-11.8%)		69	-1.1%	(-16.4%)
非工	非エネCO2,CH4,N2O		128	<u>-0.9%</u>		130	<u>-0.8%</u>			123	<u>-1.2%</u>	
	非エネCO2	74	73	-0.1%		74	+0.0%			70	-0.3%	
	CH4	25	20	-0.4%		20	-0.3%			20	-0.4%	
	N2O	40	35	-0.4%		35	-0.4%			34	-0.5%	
代档	オフロン等 3ガス	50	28	<u>-1.7%</u>		67	<u>+1.4%</u>			51	+0.1%	
	HFCs	20	13	-0.6%		46	+2.1%			34	+1.1%	
	PFCs	13	10	-0.2%		9	-0.3%			9	-0.3%	
	SF6	17	5	-0.9%		12	-0.4%			8	-0.7%	
温室効果ガス排出量		1,237	1,331	+7.6%		1,311	+6.0%			1,231	<u>-0.5%</u>	
吸収源						-32	<u>-2.6%</u>			-48	<u>-3.9%</u>	
	『メカニズム □記の表は四捨五入の都合									-20 言 十		

上記の表は四捨五入の都合上、各欄の合計は一致しない場合がある。

計 <u>-6.0%</u>

運輸部門のエネルギー起源CO2排出量見通Uについては、国土交通省と最終的な調整中。

